

基本目標1 「安全・安心・支えあい」の暮らしやすいまち

分野別政策1 安心を築く危機管理・安全対策の推進

施策 No. 3 防犯対策の推進

10年後のめざす姿 市民の防犯意識や地域防犯力の向上と犯罪被害に遭わない、犯罪を起こさせない環境整備により、犯罪の発生や被害が減少し、大阪一犯罪が少ないまちとして、市民が安心して生活しています。

住みよさ指標	当初	単位	実績値の推移					目標値(H37)	評価	
			H28	H29	H30	H31	H32			
1 「防犯」に関する市民満足度	17.7	%	目標値	18.1	18.1			19.7	21.7	↓
			実績値	16.2						
2 刑法犯認知件数	1,015	件	目標値	1,002	700			950	850	○
			実績値	722						

総合評価	住みよさ指標の状況
<b>B</b>	警察・防犯協議会等の関係団体と協力しながら防犯活動に取り組み、その結果刑法犯認知件数が減少した。しかし、刑法犯認知件数は減少しているものの、防犯に関する市民満足度は低下し、目標値を下回った。
施策を構成する事業の状況	
警察や防犯団体と連携した対策の実施や、地域の防犯意識の高揚を目的とした自主防犯活動団体への補助事業など、犯罪の発生状況に応じた防止策を講じた。また、主要な幹線道路沿いへ公設防犯カメラを設置し、防犯環境を整備することで、凶悪化する犯罪の抑止に努めた。	

これまでの取組み	街頭啓発(駅前・ショッピングセンター・金融機関)、一戸一灯運動、青色パトロール、地域での防犯活動により、防犯対策を進めてきた。
課題(めざす姿との差)	高齢者を狙った特殊詐欺(還付金等詐欺、オレオレ詐欺等)の被害が全国的にも増加傾向にあり、本市においても被害が発生しているため、高齢者の被害防止が課題である。 また、市内の刑法犯認知件数は減少傾向にあるが、今後も安全・安心なまちを目指すため、警察や自主防犯活動団体と連携し、犯罪の発生状況に応じた防止策を講じていく必要がある。
今後の方向性	防犯カメラを有効に活用して、市内への犯罪者の流入阻止に努める。 また、特殊詐欺対策機器(自動録音機)の無料貸出しにより、近年、被害が増加傾向にある特殊詐欺の発生を防止し、刑法犯認知件数の減少を図る。